

公益社団法人 川口青年会議所
第183回通常総会 資料



2025年12月2日（火）19時00分開会
川口市立青木会館 3階 会議室A

公益社団法人 川口青年会議所
第183回通常総会 次第

日 時：2025年12月02日（火曜日）
開会19時00分 閉会21時00分
会 場：川口市立青木会館3階 会議室A
運営担当：総務広報委員会
司 会：浅倉 秀明 君

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 点鐘 | 第61代理事長 濑川 智広 君 |
| 2. 開会宣言 | 伊藤 孝弘 君 |
| 3. 国歌斉唱 | |
| 4. JCソング斉唱 | |
| 5. JCICre ed唱和 | 荒川 光 君 |
| 6. JCIMission並びにJCIVision唱和 | 深井 一輝 君 |
| 7. JC宣言文朗読並びに綱領唱和 | 石川 豪一 君 |
| 8. 関東地区宣言唱和 | 佐藤 一将 君 |
| 9. オブザーバー紹介 | |
| 10. 理事長挨拶 | 第61代理事長 濑川 智広 君 |
| 11. 正会員認証 | |
| 12. 会員慶事 | |
| 13. 3分間スピーチ | 小松 将人 君 |

～レイアウト変更～

14. 議事
1. 議長の選出
 2. 資料の確認及び定足数の確認
 3. 議事録作成者及び署名人の指名
 - 4-1. 2025年度 挿正収支予算書（案）承認に関する件
 - 4-2. 定款変更（案）承認に関する件
 - 4-3. 2026年度 事業計画書（案）承認に関する件
 - 4-4. 2026年度 収支予算書（案）承認に関する件

～レイアウト変更～

15. 委員会報告
16. 出向者報告
17. 連絡報告事項
18. 次回例会案内
19. 出席率並びにニコニコBOX発表
20. 監事講評
21. 若い我等斉唱
22. 閉会宣言
23. 点鐘
- 会員研修委員会
古澤 駿 君
監事 永井 光義 君
伊藤 孝弘 君
第61代理事長 濑川 智広 君

審議－1 公益社団法人川口青年会議所

2025年度 補正収支予算書（案）承認に関する件

公益社団法人川口青年会議所 補正収支予算書(案)計画方針

(2025年1月1日～2025年12月31日)

収入の部

1	登録料収入の減額	2025年度事業内容に伴う変更。
2	寄付金収入の減額	2025年度事業内容に伴う変更。
3	協賛金収入の減額	2025年度事業内容に伴う変更。
4	受取利息収入の増額	本会計の利息金額確定に伴う変更。

支出の部

1	事業費の増額	2025年度会議内容に伴う変更。
2	賃借料の増額	JCルームの賃借料値上げに伴う変更。
3	ホームページ管理・制作の増額	ドメイン代確定に伴う変更。
4	会議費の減額	2025年度事業内容に伴う変更。
5	給与手当の増額	最低賃金改定および新規事務員採用に伴う変更。

その他の部

1	一般正味財産期首残高の減額	2024年度決算確定に伴う変更。
---	---------------	------------------

I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取会員会費						
30,000 ×	26名(正会員承認見込数)	780,000	780,000			<u>780,000</u>
受取会費						
正会員受取会費						
144,000 ×	31名(休会者を含む期首会員数)	4,464,000				
-60,000 ×	1名(会員資格規定第9条2に基づく1~5月分の会費免除)	-60,000	4,404,000			
-144,000 ×	0名(前期退会者)	0				
-72,000 ×	0名(後期退会者)	0				
新入会員受取会費 12,000円/月						
144,000 ×	0名(1月入会)	0				
120,000 ×	1名(2月入会)	120,000				
108,000 ×	0名(3月入会)	0				
96,000 ×	6名(4月入会)	576,000				
84,000 ×	2名(5月入会)	168,000				
72,000 ×	1名(6月入会)	72,000	1,896,000			
60,000 ×	16名(7月入会)	960,000				
48,000 ×	8名(8月入会)	0				
36,000 ×	0名(9月入会)	0				
24,000 ×	0名(10月入会)	0				
12,000 ×	0名(11月入会)	0				
特別会員受取会費						
賛助会員受取会費						
シニアクラブ会費収入						
30,000 ×	4名(前年度ご卒業生)	120,000	120,000	0	0	
特別会員受取会費						
賛助会員受取会費						
シニアクラブ会費収入						
1,500,000		1,500,000				
						<u>7,920,000</u>
事業収入						
登録料収入						
1月第一例会	51,500 × 1	51,500	51,500	修正		
3月第一例会	52,890 × 1	52,890	52,890	修正		
9月第一例会	45,000 × 1	45,000	45,000	修正		
第4回サイクルロゴイングin川口(一般)	4,000 × 55	220,000		修正		
第4回サイクルロゴイングin川口(一般)	2,000 × 4	8,000		修正		
第4回サイクルロゴイングin川口(一般)	1,500 × 15	22,500	241,745	修正		
第4回サイクルロゴイングin川口申込決済代行サイト手数料	-16,755 × 1	-16,755		修正		
第4回サイクルロゴイングin川口(一般・当日支払い)	4,000 × 2	8,000		修正		
広告料収入						
公式サイトバナー広告	20,000 × 15社	300,000	300,000			<u>691,135</u>
受取寄付金						
寄付金収入						
クラウドファンディング	11,100 × 6	66,600		修正		
クラウドファンディング	5,000 × 2	10,000		修正		
クラウドファンディング	3,000 × 4	12,000		修正		
クラウドファンディング	1,110 × 2	2,220		修正		
クラウドファンディング	1,000 × 1	1,000		修正		
クラウドファンディング 申込決済代行サイト手数料	-17,169 × 1	-17,169		修正		
協賛金収入						
第4回サイクルロゴイングin川口 メディアボード	30,000 × 13社	390,000		修正		
第4回サイクルロゴイングin川口 バンフレット	20,000 × 5社	100,000	525,000	修正		
第4回サイクルロゴイングin川口 バンフレット	10,000 × 3社	30,000		修正		
第4回サイクルロゴイングin川口 バンフレット	5,000 × 1社	5,000		修正		
補助金収入						
川口市	200,000 × 1	200,000	200,000			<u>799,651</u>
雑収入						
受取利息収入【本会計】3月(813円)、9月(1,910円)	2,723 × 1	2,723	2,723	修正		
その他雑収入 川口青年会議所連絡協議会事務局委託費	10,800 × 12ヶ月	129,600	129,600			
自動販売機設置料	8,470 × 1	8,470	8,470			
						<u>140,793</u>
経常収益計						<u>10,331,579</u>
(2) 経常費用						
事業費						
1. 会員拡大特別委員会・3月第一例会(155,968円)、【予】11月第一例会(63,000)		218,968		修正		
2. 青少年育成会議・4月第一例会(195,692円)、【予】6月事業(279,000円)、【予】8月第一例会(55,000円)		1,029,692		修正		
3. 会員研修委員会・1月第一例会(483,943円)、6月第一例会(0円)、9月第一例会(223,355円)、【予】12月第一例会(495,000円)		1,202,298	4,452,918	修正		
4. 総務広報委員会・5月第一例会(3,960円)、【予】10月第一例会広報(493,000円)、【予】11月第一例会(1,505,000円)		2,001,960		修正		
5. 特務室・2月第一例会(0円)、7月第一例会(0円)		0				
						<u>4,452,918</u>
管理費						
通信・配送費 会員・事務会員知等、インターネット利用料		120,000	120,000			
消耗品費 JCI手帳700円×(出向者数+0を含む)、消耗品、印刷費		366,000	366,000			
賃借料 事務局賃料(1~3月、5~12月)	138,529 × 11	1,523,819	1,662,350	修正		
賃借料 事務局賃料(4月)	138,531 × 1	138,531		修正		
ホームページ管理・制作 メアリーベンチャーズ(1,100円/月)	1,100 × 12	13,200	22,644			
ホームページ管理・制作 お名前.com メイペイ	9,444 × 1	9,444		修正		
1. 会員拡大特別委員会		5,000				
2. 青少年育成会議		20,000				
3. 会員研修委員会		10,000				
会議費 4. 総務広報委員会		20,000	96,150			
会議費 5. 総務広報委員会		7,700				
6. 理事会		0				
7. 総会・第181回通常総会(19,320円)、第1回臨時総会(2,830)、【予】第182回通常総会(5,300円)、【予】第183回通常総会(6,000円)		33,450		修正		
水道光熱費 光水光費、固定電話、損害保険料	200,000 × 1	200,000	200,000			
事務機器 A (①2025年1~10月始(766,458円) ②事業代(4月)、未発生)	766,458 × 1	766,458	766,458	修正		
事務機器 B (①2025年10月始(42,659円)、※10月17日より勤務開始 ②通常費(500円×7、1,000円×2)	49,159 × 1	49,159	49,159	修正		
事務機器 C (①通常費=1,141円×4.5時間×16日×2ヶ月 ②通常費=1,141円×3時間)	85,575 × 2	171,150	171,150	修正		
給与手当						
事務機器 B (①2025年10月始(42,659円)、※10月17日より勤務開始 ②通常費(500円×7、1,000円×2)	49,159 × 1	49,159	49,159	修正		
事務機器 C (①通常費=1,141円×4.5時間×16日×2ヶ月 ②通常費=500円×16日×2ヶ月)	90,152 × 2	180,304	180,304	修正		
雑費 名札台紙(99円×110枚=10,890円)、振込手数料等		100,000	100,000			
入会案内パンフレット	14,850 × 1	14,850				
広報費 会員募集中止	60,000 × 1	60,000	314,850			
インターネット広報(30,000円×8ヶ月)	30,000 × 8	240,000				
涉外費 京都市会議	8,000 × 1	8,000	8,000			
慶弔費 結婚・出産お祝い、香典等	10,000 × 3	30,000	30,000			
税金 所得税	10,000 × 12ヶ月	120,000				
事務委託費 社士会	6,600 × 1	6,600	136,600			
司書士	10,000 × 1	10,000				
川口青年社士人連絡協議会(当年4月1日時点の会員数)	1,700 × 32名	54,400	199,400			
諸会費 連絡協議会	145,000 × 1	145,000				
手帳代費 現役31歳+新入20歳+シニアクラブ280+予備29	748 × 360冊	269,280	269,280			
JCI負担金						
①基本額	2,145 × 31名	66,495	109,395			
②付加金	30,000 × 1	30,000				
日本JC負担金	5,000 × 31名(継続会員)	155,000				
日本JC負担金	2,500 × 16名(継続新入会員)	50,000	321,500			
③2025年度 未来の青年会議所を創る協力金	1,500 × 31名(継続会員)	46,500				
関東地区負担金 ②付加金	10,000 × 31名(継続会員)	10,000				
関東地区負担金 ③付加金	1,000 × 31名(継続会員)	31,000	51,000			
関東地区負担金 ④付加金	20,000 × 1	20,000				
埼玉ブロック負担金 ②付加金	6,000 × 31名(継続会員)	186,000	266,000			
埼玉ブロック負担金 ③付加金	6,000 × 10名(前期新入会員)	60,000				
国際協力基金	1,825 × 31名(継続会員)	56,575	74,825			
日本JC出向者負担金 雑誌購読料 250円/ヶ月(隔月発行)	1,825 × 10名(前期新入会員)	18,250				
日本JC出向者負担金 雑誌購読料 250円/ヶ月(隔月発行)	20,000 × 7名	140,000	140,000			
日本JC出向者負担金 雑誌購読料 1,500 × 31名(継続会員)	1,500 × 10名(前期新入会員)	46,500				
日本JC出向者負担金 雑誌購読料 1,250 × 1名(2~3月入会)	1,250 × 1名(2~3月入会)	1,250				
日本JC出向者負担金 雑誌購読料 1,000 × 8名(4~5月入会)	1,000 × 8名(4~5月入会)	8,000	68,500			
日本JC出向者負担金 雑誌購読料 750 × 17名(6~7月入会)	750 × 17名(6~7月入会)	12,750				
日本JC出向者負担金 雑誌購読料 500 × 50名(8~9月入会)	500 × 50名(8~9月入会)	0				
日本JC出向者負担金 雑誌購読料 250 × 0名(10~11月入会)	250 × 0名(10~11月入会)	0				
						<u>5,723,565</u>
経常費用計						<u>10,176,483</u>
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外益					0	
由科目別記載					0	
経常外益計					0	
(2) 経常外費用					0	
減価償却費					0	
経常外費用計					0	
一 会計差額額					0	
当期一般正味財産期初額					155,096	
一般正味財産期初残高					2,118,667	修正
一般正味財産期末残高					2,273,763	
II 指定正味財産期初額の部						
受取補助金等					0	
一般正味財産への指揮額					0	
当期指定正味財産期初額					0	
指定正味財産期初残高					0	
指定正味財産期未残高					0	
III 正味財産期未残高						
150,000 × 1	1. 2025年分	150,000				
0 × 1	1. 2026年分	0				
0 × 1	1. 2027年分	0				
0 × 1	1. 2028年分	0	150,000			
65周年 2029年度					150,000	
65周年積立金 (特定費用準備資金制度利用)	0 × 1	1. 2026年分	0			
65周年積立金 (特定費用準備資金制度利用)	0 × 1	1. 2027年分	0			
65周年積立金 (特定費用準備資金制度利用)	0 × 1	1. 2028年分	0	150,000		
65周年 2029年度					150,000	
年間費用算引 本会計					2,123,763	

科目	2025年予算	2025年予算(第182回総会)	比較増減	小計に占める割合
経常増減の部				
(1) 経常収益				
I. 受取入会金	780,000	780,000	0	7.55%
受取入会金	780,000	780,000	0	
II. 受取会費	7,920,000	7,920,000	0	76.66%
正会員受取会費	4,404,000	4,404,000	0	
新入会員受取会費	1,896,000	1,896,000	0	
特別会員受取会費	120,000	120,000	0	
シニアクラブ会費収入	1,500,000	1,500,000	0	
III. 事業収入	691,135	782,500	△ 91,365	6.69%
登録料収入	391,135	482,500	△ 91,365	
広告料収入	300,000	300,000	0	
IV. 受取寄付金	799,651	982,100	△ 182,449	7.74%
寄付金収入	74,651	202,100	△ 127,449	
協賛金収入	525,000	580,000	△ 55,000	
補助金収入	200,000	200,000	0	
V. 雑収益	140,793	138,084	2,709	1.36%
受取利息	2,723	14	2,709	
その他雑収益	138,070	138,070	0	
経常収益計	10,331,579	10,602,684	△ 271,105	100.00%
(2) 経常費用				
I. 事業費			0	
	4,452,918	3,665,000	787,918	43.76%
			0	
II. 管理費	5,723,565	5,453,826	269,739	56.24%
通信・発送費	120,000	120,000	0	
什器備品費	0	0	0	
消耗品費	366,000	366,000	0	
事務局賃借料	1,662,350	1,562,376	99,974	
ホームページ管理費	22,644	13,200	9,444	
会議費	96,150	132,700	△ 36,550	
水道光熱費	200,000	200,000	0	
給与手当	1,167,071	970,200	196,871	
雑費	100,000	100,000	0	
広報費	314,850	314,850	0	
涉外費	8,000	8,000	0	
慶弔費	30,000	30,000	0	
事務委託費	136,600	136,600	0	
諸会費	199,400	199,400	0	
手帳作成費	269,280	269,280	0	
J C I 負担金	109,395	109,395	0	
日本 J C 負担金	321,500	321,500	0	
関東地区負担金	51,000	51,000	0	
埼玉ブロック負担金	266,000	266,000	0	
国際協力基金	74,825	74,825	0	
日本 J C 出向者負担金	140,000	140,000	0	
雑誌購読料	68,500	68,500	0	
減価償却費	0	0	0	
経常費用計	10,176,483	9,118,826	1,057,657	100.00%
評価損益等調整前当期経常増減額	155,096	1,483,858	△ 1,328,762	
当期経常増減額	155,096	1,483,858	△ 1,328,762	
経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
減価償却費	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	155,096	1,483,858	△ 1,328,762	
一般正味財産期首残高	2,118,667	3,173,015	△ 1,054,348	
一般正味財産期末残高	2,273,763	4,656,873	△ 2,383,110	0
特定費用準備資金制度運用 65周年積立金 2025、2026、2027、2028年分	150,000	150,000		

法人名	公益社団法人 川口青年会議所
-----	----------------

補正収支予算書

2025年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
(1) 経常収益											
受取入会金	0	0	0	468,000	468,000	0	0	312,000	312,000	0	780,000
受取会費	0	0	0	4,752,000	4,752,000	0	0	3,168,000	3,168,000	0	7,920,000
正会員受取会費	0	0	0	2,642,400	2,642,400	0	0	1,761,600	1,761,600	0	4,404,000
新入会員受取会費	0	0	0	1,137,600	1,137,600	0	0	758,400	758,400	0	1,896,000
特別会員受取会費	0	0	0	72,000	72,000	0	0	48,000	48,000	0	120,000
賛助会員受取会費	0	0	0	900,000	900,000	0	0	600,000	600,000	0	1,500,000
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収入	0	391,135	0	0	391,135	0	0	300,000	300,000	0	691,135
* 受取寄付金	0	799,651	0	0	799,651	0	0	0	0	0	799,651
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140,793	140,793
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,723	2,723
その他雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,070	138,070
経常収益計	0	1,190,786	0	5,220,000	6,410,786	0	0	3,780,000	3,780,000	140,793	10,331,579
(2) 経常費用											
事業費	2,119,959	3,088,264	519,389	0	5,727,612	430,381	1,565,719	0	1,996,100		7,723,712
賃借料	566,320	835,816	129,200	0	1,531,336	27,810	795,500	0	823,310		2,354,646
諸謝金	210,182	0	13,608	0	223,790	0	0	0	0		223,790
印刷製本費	226,700	535,401	13,050	0	775,151	38,200	6,057	0	44,257		819,408

補正収支予算書

2025年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
参加記念品費	0	546,022	0	0	546,022	0	95,140	0	95,140		641,162
慶弔費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
保険料	0	24,947	0	0	24,947	0	0	0	0		24,947
通信運搬費	110	7,000	110	0	7,220	0	72,380	0	72,380		79,600
振込手数料	26,380	48,814	0	0	75,194	950	13,221	0	14,171		89,365
通信・発送費	36,000	36,000	12,000	0	84,000	12,000	12,000	0	24,000		108,000
什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
消耗品費	109,800	109,800	36,600	0	256,200	36,600	36,600	0	73,200		329,400
賃借料	498,705	498,705	166,235	0	1,163,645	166,235	166,235	0	332,470		1,496,115
ホームページ管理費	6,795	6,793	2,264	0	15,852	2,264	2,264	0	4,528		20,380
会議費	28,845	28,845	9,615	0	67,305	9,615	9,615	0	19,230		86,535
水道光熱費	60,000	60,000	20,000	0	140,000	20,000	20,000	0	40,000		180,000
給与手当	350,122	350,121	116,707	0	816,950	116,707	116,707	0	233,414		1,050,364
管理費											
通信・発送費										12,000	12,000
什器備品費										0	0
消耗品費										36,600	36,600
賃借料										166,235	166,235
ホームページ管理費										2,264	2,264
会議費										9,615	9,615
水道光熱費										20,000	20,000
給与手当										116,707	116,707
雑費										100,000	100,000
広報費										314,850	314,850
涉外費										8,000	8,000
慶弔費										30,000	30,000

補正収支予算書

2025年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
事務委託費										136,600	136,600
諸会費										199,400	199,400
手帳作成費										269,280	269,280
JCI負担金										109,395	109,395
日本JC負担金										321,500	321,500
関東地区負担金										51,000	51,000
埼玉ブロック負担金										266,000	266,000
国際協力基金										74,825	74,825
日本JC出向者負担金										140,000	140,000
雑誌購読料										68,500	68,500
減価償却費										0	0
経常費用計	2,119,959	3,088,264	519,389	0	5,727,612	430,381	1,565,719	0	1,996,100	2,452,771	10,176,483
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,119,959	△ 1,897,478	△ 519,389	5,220,000	683,174	△ 430,381	△ 1,565,719	3,780,000	1,783,900	△ 2,311,978	155,096
当期経常増減額	△ 2,119,959	△ 1,897,478	△ 519,389	5,220,000	683,174	△ 430,381	△ 1,565,719	3,780,000	1,783,900	△ 2,311,978	155,096
経常外増減額の部											0
(1) 経常外収益											0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
* 他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,119,959	△ 1,897,478	△ 519,389	5,220,000	683,174	△ 430,381	△ 1,565,719	3,780,000	1,783,900	△ 2,311,978	155,096
一般正味財産期首残高										2,118,667	2,118,667
一般正味財産期末残高											2,273,763
正味財産期末残高											2,273,763

審議－2 公益社団法人川口青年会議所
定款変更（案）承認に関する件

定款変更案新旧対照表

現行定款	変更案	変更点
公益社団法人川口青年会議所定款 (名称) 第1条 この法人は、公益社団法人川口青年会議所と称する。	一般社団法人川口青年会議所定款 (名称) 第1条 この法人は、一般社団法人川口青年会議所と称する。	
(公益目的取得財産残額の算定) 第42条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第2項第4号の書類に記載するものとする。	(剩余金の不分配) 第42条 当法人は、剩余金の分配を行わない。	旧第42条は、公益法人独自の規程により削除。 新第42条は、非営利型の一般社団法人であるために必要な記載のため追加。
(公益認定の取消し等に伴う贈与) 第45条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1か月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。	(削除)	公益法人独自の規定につき削除
(残余財産の帰属) 第46条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会	(残余財産の帰属) 第46条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会	公益認定取り消しに伴い残余財産の

<p>の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。</p> <p>附 則</p> <p>1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。</p> <p>2 この法人の最初の理事長は仁平義一とする。</p> <p>3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第39条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。</p>	<p>の決議を経て決定された公益法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。</p> <p>附 則</p> <p>1 この定款は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第29条第1項第4号に基づく公益認定の取消しの日から施行する。</p>	<p>帰属性の決定方法を変更</p> <p>施行日を追加。合わせて既存の附則を削除。</p>
--	---	--

審議－3 公益社団法人川口青年会議所

2026年度 事業計画書（案）承認に関する件

2026年度 年間事業計画					
一般社団法人 川口青年会議所					
担当委員会	会員拡大特別会議				
事業概要	1)33%以上の会員拡大の実施 2)拡大例会の実施 3)拡大交流会の実施 4)出向者支援 5)各種大会への参加				
事業予算	¥ 500, 000-	作成者	廣瀬 秋馬	役職	委員長
事業の目的	<p><u>パンフレット作成</u> 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・前年のパンフレットの更新を行うことを目的とする。</p> <p><u>拡大交流会の実施</u> 事業対象者:川口青年会議所メンバー、対外 ・異業種交流会を通して拡大対象メンバーを入会に繋げることを目的とする。 ・メンバーと拡大運動に対する関係性を築くことを目的とする。</p> <p><u>3月第一例会 拡大例会</u> 事業対象者:川口青年会議所メンバー、対外 ・拡大対象者にオブザーブしていただき会員拡大に繋げることを目的とする。</p> <p><u>7月第一例会の実施</u> 事業対象者:川口青年会議所メンバー、対外 ・拡大対象者にオブザーブしていただき会員拡大に繋げることを目的とする。</p> <p><u>33%以上の会員拡大</u> 事業対象者:川口青年会議所メンバー、対外 ・33%以上の会員拡大を達成することを目的とする。</p> <p><u>入会体験者のフォロー</u> 事業対象者:対外 ・入会体験者を入会に繋げることを目的とする。</p> <p><u>各種大会への参加</u> 事業対象者:川口青年会議所メンバー メンバーへの学びの場を提供することを目的とする。</p>				
	<p><u>パンフレット作成</u> ・拡大対象者に川口青年会議所の最新の事業を知っていただくために本年のパンフレットの写真を最新の写真にします。</p> <p><u>拡大交流会の実施</u> ・業種は問わず拡大対象者を集めて飲食形式の交流会を実施する。</p>				
	<p><u>3月第一例会 拡大例会</u> ・青年会議所がもつ無限の可能性を熱く語る講師をお呼びします。 ・講演形式の例会とします。 ・講演後は飲食形式の交流会を実施する。</p>				
	<p><u>7月第一例会の実施</u> ・創業者でJCIに入会し、事業拡大に成功した講師をお呼びします。 ・講演形式の例会とします。 講演後は飲食形式の交流会を実施する。</p>				

	<p><u>33%以上の会員拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none">・全てのメンバーと連携し拡大情報を収集する。・先輩諸兄姉、関係各所団体から拡大情報を収集する。・本年、入会が厳しい候補者にも未来へ繋がる拡大をする。・各委員会と連携し拡大に対する当事者意識を醸成する。
	<p><u>入会体験者のフォロー</u></p> <ul style="list-style-type: none">・全てのメンバーと連携し入会までアテンドします。・退会防止のために活動内容を正確に伝える。
	<p><u>各種大会への参加</u></p> <ul style="list-style-type: none">・各種大会へ参加する。
<u>その他説明</u>	

2026年度 年間事業計画					
一般社団法人 川口青年会議所					
担当委員会	青少年育成委員会				
事業概要	1)青少年育成・かわぐちびと創出に関する例会の実施 2)会員拡大の実施 3)各種大会への参加				
事業予算	¥ 1, 410, 000-	作成者 確認者	廣瀬 秋馬 細野 信隆	役職 役職	委員長 専務理事
事業の目的	<p>5月第一例会 事業対象者:川口市在住の市民 田植えを通して、挑戦する「意欲」を育むことを目的とする。</p> <p>8月第一例会 事業対象者:川口市在住の市民 複合型謎解きゲームを通して、仲間と協力してクリアを目指し、「協調性」を育むことを目的とする。</p> <p>10月第二例会 事業対象者:川口市在住の市民 ・自分が植えた苗が、地域のためにどう使われたかを知り、貢献の実感を得ることを目的とする。 ・活動により自己肯定感を育み非認知能力の向上を目的とする。 ・かわぐちびとの創出を目的とする。</p> <p>会員拡大の実施 事業対象者:青少年育成委員会メンバー ・メンバー拡大運動への協力を目的とする。</p> <p>各種大会への参加 事業対象者:青少年育成委員会メンバー ・日本青年会議所、関東地区協議会、埼玉ブロック協議会等のスケールメリットを活かした設営に触れ、JCの魅力を体感することを目的とする。</p>				
事業の内容	<p>5月第一例会 ・小学生とその保護者を対象として、大人2,000円、こども1000円を参加費とする。 ・大人30名、小学生30名、計60名程度を募集する。 ・朝に川口駅に集合、大型バスに乗車し、お昼前に田んぼへ到着する。 ・大型バス移動中にこども向けにお米や食の大切さについてクイズや講和をしてもらう。休憩は移動1時間につき最低1回取る。 ・親子で田んぼに稻を植える体験をしてもらう。 ・終了後「意欲」が向上したか保護者、こどもを対象にアンケートを取り、効果を測る。</p> <p>8月第一例会 ・屋内会場にコーナーを10ヵ所程度設営し、それぞれの場所で謎解きやゲームを行う。 ・こどもだけのグループを作り、各ブースをクリアするとスタンプを押してもらえるスタンプカードを用意し、全部クリアを目指す。 ・目隠し迷路で歩く人、ゴールの場所を教える人などのグループで役割を決め、ゴールを目指すステージや、伝言ゲームで答えをステージなど、協力や協調をテーマとしたステージを設営する。 ・終了後「協調性」が向上したか保護者・こどもを対象にアンケートを取り、効果を測る。</p> <p>10月第二例会 ・市民が集まりやすい会場に炊き出し配布スペース、販売スペース、炊き出しを食べるスペースを設営する。 ・収穫された米を使用して、こども食堂と連携して、炊き出しをこども連れの家族を対象に配布する。 ・こどもたちを炊き出し配布班や、お米の販売班、自由時間のグループにわけ、30分ごとの輪番制にする。 ・自身が生産に携わった米の販売を通じて、食の大切さや命の循環を知る。 ・終了後「やりぬく力」が向上したか保護者、こどもを対象にアンケートを取り、効果を測る。 ・地域貢献活動に触れる機会を提供し、街を良くしようと行動してもらうことで、意思が循環する。</p> <p>会員拡大の実施 会員を3人拡大をするために、四半期に一度は入会対象者を調査し、顔を合わせる。</p> <p>各種大会への参加 各種大会への参加。</p>				
その他の説明					

2026年度 年間事業計画

一般社団法人 川口青年会議所

担当委員会	会員研修委員会				
事業概要	1)新入会員の育成 2)正会員認証に向けたフォローの実施、 3)新春祝賀会・親睦会・卒業式、忘年会の実施、4)埼玉ブロック大会例会の実施 5)JC塾の実施、6)じゃがいもゴルフコンペの実施、7)献血会の実施、8)会員拡大の実施 9)各種大会への参加				
事業予算	¥1, 200, 000-	作成者 確認者	廣瀬 秋馬 細野 信隆	役職 役職	委員長 専務理事
事業の目的	<p>1月第一例会 新春祝賀会 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・2026年度理事長の基本方針、事業内容を来賓、来訪JC、友好関係諸団体、先輩諸兄姉の皆様に伝えることを目的とする。 ・ご参加の皆様との交流を深めることを目的とする。 ・設営を通じてJAYCEEの基礎知識の向上を目的とする。</p> <p>委員会内JC塾 事業対象者:会員研修委員会メンバー ・入会歴の浅いメンバーにJCの実務を学ぶ機会の提供を目的とする。</p> <p>JC塾 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・入会歴の浅いメンバーにJCをやってよかったことや成長できたことを伝えていただくことを目的とする。</p> <p>じゃがいもゴルフコンペ 事業対象者:川口青年会議所メンバー・OBOG ・ゴルフを通じて、先輩諸兄姉と交流を深めることを目的とする。 ・ゴルフ場で先輩諸兄姉を迎える設営を学ぶことを目的とする。 ・ゴルフ未経験者にも、ゴルフに触れ合ってもらうことを目的とする。</p> <p>6月第一例会ブロック大会越谷大会 事業対象者:川口青年会議所メンバー ブロック大会ならではのスケールメリットを体感することを目的とする。・出向メンバーへの支援を目的とする。・セミナーに出席し、JAYCEEの魅力に触れる目的とする</p> <p>9月第一例会 親睦会 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・先輩諸兄姉をお招きし、アトラクションを通じて新人メンバーを紹介し、交流を深めることを目的とする。 ・次年度理事長予定者、役員予定者を紹介することを目的とする。 ・アトラクションを通じ、新人メンバー同士の絆を深めることを目的とする。 ・新入会員が厳格な設営を学ぶことを目的とする。</p> <p>12月第一例会 卒業式・忘年会 事業対象者:川口青年会議所メンバー 【卒業式】 ・2026年度ご卒業生メンバーのご卒業を御祝いし、送り出すことを目的とする。 ・委員会メンバーが厳格な設営を学ぶことを目的とする。 【忘年会】 ・本年度の活動を振り返り、すべてのメンバーをねぎらうことを目的とする。 ・委員会メンバーが厳格な設営を学ぶことを目的とする。</p> <p>献血会 事業対象者:川口青年会議所メンバー、地域の方々 ・公益社団法人川口青年会議所 献血に関する規定第1条に基づき、相互扶助の精神に則り、川口市民に対する献血思想の普及を図るとともに、献血によって健康かつ安全で良質な血液の確保に協力することを目的とする。</p>				

	<p>新入会員の育成 事業対象者:川口青年会議所新入メンバー ・JCプロトコルを用いたJAYCEEとしての基本知識を学ぶことを目的とする。 ・心配御無用を用いたJAYCEEとしての基礎知識を学ぶことを目的とする。</p> <p>正会員認証向けたフォローの実施 事業対象者:川口青年会議所新入メンバー ・入会体験者を正会員認証まで繋げることを目的とする。</p> <p>会員拡大の実施 事業対象者:会員研修委員会メンバー ・メンバー拡大運動への協力を目的とする。</p> <p>各種大会への参加 事業対象者:会員研修委員会メンバー ・日本青年会議所、関東地区協議会、埼玉ブロック協議会等のスケールメリットを活かした設営に触れ、JCの魅力を体感することを目的とする。</p>
事業の内容	<p>1月第一例会 新春祝賀会 ・2026年度理事長の基本方針、事業内容の発信。 ・2026年度役員紹介。 ・来賓、来訪JC、友好関係諸団体、先輩諸兄姉との交流、情報交換。 ・厳格な設営。</p> <p>委員会内JC塾 ・歴の長いメンバーによるJCの魅力をテーマにした講演の実施。</p> <p>JC塾 ・先輩講師にJCでやってよかったことや成長できたことをテーマにした講演の実施。</p> <p>じゃがいもゴルフコンペ ・先輩諸兄姉をお招きして、交流を深めるゴルフコンペの開催。 ・じゃがいもキャプテンの設置による、委員会メンバーのリーダーシップを学ぶ機会の提供。 ・経験のないメンバーも参加できるゴルフコンペの実施。</p>
	<p>6月第一例会ブロック大会越谷大会 ・メインフォーラム、大会式典、各種セミナー、事業への参加。</p> <p>9月第一例会 親睦会 ・次年度理事長役員予定者、次年度役員予定者の紹介。 ・新人メンバーによるアトラクション。 ・宴席での先輩諸兄姉との交流。・厳格な設営を通して当事者意識を育てる。</p> <p>12月第一例会 卒業式・忘年会 【卒業式】 ・ご卒業生のこれまでの軌跡の紹介と祝福。 ・卒業証書、記念品の授与、卒業生代表スピーチの実施。 【忘年会】 ・ご卒業生を交えた会食の実施。 ・最優秀献血賞、最優秀委員会賞の授与。</p> <p>献血会 ・公益社団法人川口青年会議所 第2条に基づく事業内容の実施。</p> <p>新入会員の育成 ・委員会でのJCプロトコル・心配御無用を使用した勉強会の実施。 ・委員会内JC塾の開催。・他LOMの式典等に参加したときのそのLOMの設営に対する意見交換の実施。</p> <p>正会員認証向けたフォローの実施 ・会員拡大特別委員会との綿密な情報、連絡共有。 ・入会体験者との綿密なコミュニケーションを行い、参加しやすい環境を整える。 ・正会員認証の上程。</p> <p>会員拡大の実施 ・3名の以上の拡大を達成し会員拡大特別委員会への拡大対象者の情報の共有。</p> <p>各種大会への参加 ・JCI諸会議、各種大会およびLOMとして参加する他LOMの式典等への参加。</p>
その他の説明	

2026年度 年間事業計画

一般社団法人 川口青年会議所

担当委員会	総務広報委員会				
事業概要	1)時代を捉えた徹底的な広報活動の実施・検証 2)理事会・総会の設営 3)適正な会計管理 4)HP・会議資料ページ・メーリングリスト等の管理 5)JCルームの備品管理 6)JC手帳の作成・管理 7)総務引き継ぎマニュアルの作成 8)会員拡大の実施 9)各種大会への参加				
事業予算	¥10,000- ※その他説明に補足有	作成者 確認者	廣瀬 秋馬 細野 信隆	役職 役職	委員長 専務理事
事業の目的	<p>第184回通常総会 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・定款第14条第1項による総会の開催を目的とする。 ・各委員長から想いを伝え、川口青年会議所メンバーとして一年間の活動の理解を深めることを目的とする。 ・広報の大切さを伝えることを目的とする。 ・委員会以外のメンバーから、広報のアイデアを引き出すことを目的とする。</p> <p>広報意識の向上のための活動 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・広報の大切さを伝えることを目的とする。 ・委員会以外のメンバーから、広報のアイデアを引き出すことを目的とする。</p> <p>第185回通常総会 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・定款第14条第1項による総会の開催を目的とする。 ・会員研修委員会と合同で動員をかけ、総会の出席率70%を目的とする。</p> <p>第186回通常総会 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・定款第14条第1項による総会の開催を目的とする。 ・一年間の事業を振り返り、委員長からメンバーへ感謝の思いを伝えるとともに、次年度へ向けたメンバーの意識を高めることを目的とする。 ・各委員会長、出向者から、年間を通じた活動を報告し、次年度の出向への意識を高めることを目的とする。</p> <p>外部に向けた事業、例会の広報へのバックアップ 事業対象者:川口青年会議所メンバー 外部発信が必要な活動への協力とフォローを目的とする。</p> <p>時代を捉えた徹底的な広報活動の実施・検証 事業対象者:対外 ・徹底的な情報発信を行い、発信力を高めることを目的とする。 ・投稿への反応を分析し、効果的な投稿の検証することを目的とする。 ・事業のSNSでの効果的な広報を行うことを目的とする。</p> <p>理事会・総会の運営 事業対象者:川口青年会議所メンバー 運営規定による理事会の運営を目的とする。</p> <p>適正な会計管理 事業対象者:川口青年会議所メンバー 予算運営を行うことを目的とする。</p> <p>HP・会議資料ページ・メーリングリスト等の管理 事業対象者:川口青年会議所メンバー 各種インターネット環境媒体を管理することを目的とする。</p> <p>JCルームの備品管理、JC手帳の管理 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・備品の紛失及び損壊の防止を目的とする。 ・備品の管理を目的とする。 ・新入会員への手帳の配布及び在庫数の管理を目的とする。</p>				

<p>総務引き継ぎマニュアルの作成 事業対象者:川口青年会議所メンバー 次年度以降、迷わずに総務を運用できるようなマニュアルを作ることを目的とする。</p> <p>会員拡大の実施 事業対象者:川口青年会議所メンバー 会員を拡大することを目的とする。</p> <p>各種大会への参加 事業対象者:川口青年会議所メンバー メンバーへの学びの場を提供することを目的とする。</p>	事業の内容
<p>第184回通常総会 ・2025年度事業報告・収支決算、2026年度修正修正収支予算の議案決議。 ・各委員長からメンバーへ、一年間の運動方針と抱負を発表していただく。 ・広報の大切さをメンバー全員に周知させ、広報への協力を促す。</p>	
<p>広報意識の向上のための活動 広報の大切さをメンバー全員に周知させる、広報への協力を促す。</p>	
<p>第185回通常総会 ・次年度組織図・理事、2026年度補正収支予算の議案決議。 ・総会後の懇親会の動員に結びつけるためにも、会員研修委員会と合同で総会への動員をかける。</p>	
<p>第186回通常総会 ・2025年度補正収支予算、2026年度事業計画・収支予算の議案議決をする。 ・各委員長から運動報告を行う。 ・各次年度委員長から、次年度委員会の抱負を発表してもらう。 ・出向先ごとに、活動の報告をしていただく。</p>	
<p>外部に向けた事業、例会の広報へのバックアップ 例会、事業の協議段階から積極的に情報を取得して、委員会とコミュニケーションを取ることで広報計画を構築し、広報の協力体制を整える。</p>	
<p>時代を捉えた徹底的な広報活動の実施・検証 ・13話×4シリーズ、計52話の動画コンテンツを作成し、発信する。 ・川口市内の魅力的なエリア・イベントを年間50以上を目標に取材し、発信する。 ・どういった発信が効果的なのかを毎月の委員会で検証し、軌道修正を行う。 ・事業の広報としてSNSを効果的に使えるように、LOM内で密に連携を取る。</p>	
<p>理事会・総会の運営 ・理事会の設営及び事前資料配信、議事録作成・配信を行う。 ・総会の設営及び事前資料配信、議事録作成・配信を行う。</p>	
<p>適正な会計管理 ・的確な財産管理を行う。 ・公益事業比率、予算執行の確認を行う。 ・会費入金状況の確認及び未納者へアプローチを行う。 ・法人格の変更に伴い、2025年度までと異なる部分を正確に把握する。</p>	
<p>HP・会議資料ページ・メーリングリスト等の管理 ・スタッフ会議及び理事会資料を期限内にWEBに掲載する。 ・JCルームの使用状況を可視化する。 ・MLへの追加・更新等の昨日対応を行う。 ・HPの更新。</p>	
<p>JCルームの備品管理、JC手帳の管理 ・適宜備品の棚卸し、リストを用いた備品の管理を徹底する。 ・JC手帳を先輩諸兄姉、現役メンバーに配布する。</p>	
<p>総務引き継ぎマニュアルの作成 ・年間を通じた総務の扱いのマニュアル化を行う。 ・法人格の変更に伴う運用の変更点を明確にする。 ・厳格な運営について、マニュアル化できる部分は確実に落とし込む。</p>	

	<p><u>会員拡大の実施</u></p> <ul style="list-style-type: none">・拡大対象者の情報を常に共有する。・委員メンバーそれぞれが、自分にできる拡大を考え、明確にする。・3人以上の拡大を達成する。 <p><u>各種大会への参加</u></p> <ul style="list-style-type: none">・他LOMの運動、各大会の内容を共有する。・積極的に参加を促す。
その他の説明	<p>「時代を捉えた徹底的な広報活動の実施・検証」は事業計画として記載しているが、川口青年会議所の広報として扱うため、広報費に計上。</p> <p>総会の費用は、総会費に計上。</p>

2026年度 年間事業計画					
一般社団法人 川口青年会議所					
担当委員会	副理事長				
事業概要	1) ブロック大会構築に向けた例会の実施 2) 公開討論会の実施 3) 会員拡大の実施 4) 各種大会への参加				
事業予算	¥ 150, 000-	作成者 確認者	廣瀬 秋馬 細野 信隆	役職 役職	委員長 専務理事
事業の目的	<p>10月第一例会 事業対象者: 川口JCメンバー 対内①川口JCメンバーにブロック大会川口大会について、情報共有と開催意識向上の場を提供することを目的とする。</p> <p>公開討論会 事業対象者: 川口市民・川口JCメンバー 対外①川口市民に対し、公開討論会を通して候補者の選定判断材料の提供と、市政に対する関心を深めることを目的とする。 対内①メンバーに川口の市政に触れてもらい、まちに関心を持ってもらうことを目的とする。</p> <p>会員拡大の実施 事業対象者: 川口青年会議所メンバー ・会員を拡大することを目的とする。</p> <p>各種大会への参加 事業対象者: 川口青年会議所メンバー ・メンバーへの学びの場を提供することを目的とする。</p>				
事業の内容	<p>10月第一例会 川口JCブロック大会決起集会(仮) ■例会会場: リリア大会議室(仮)リリア周辺会場(仮) ■事業内容: ブロック大会を行うメイン会場やリリア西口公園(仮)周辺等の実際に使用する会場をメンバー一同で視察説明をし、規模感を感じてもらう。 第一部「ブロック大会川口大会現状説明と共有」(仮) 2026年度ブロック大会運営委員会にVCとして出向する伊藤副理事長の経験をもとに、メンバーのブロック大会開催に向けた意識統一を図るため、PPTを用いて予定者段階から6月当日までの動きを使用し説明、同時にブロック大会を川口で行うことによる、まちの益、LOMの益、川口JCメンバーの益を周知理解していただく。 第二部「内田剛史先輩による基調講演」(仮) 2020年度ブロック会長であり、2016年度ブロック大会西入間大会のブロック委員長を経験された、第53代理事長内田剛史先輩よりブロック大会においてメンバーがどの様に心構えをするべきなのか、また当時の様な想いで構築を行ったのか、当時の内容を含めながら講演をいただく。</p> <p>公開討論会 川口市長選の候補者の討論会を開催する。その様子を公開し、インターネットでのライブ配信もおこなう。 第一部: 公開討論会方式を用いて、公開討論会をおこなう。 第二部: 候補者間で意見交換をしていただく。</p> <p>会員拡大の実施 ・拡大対象者の情報を常に共有する。</p> <p>各種大会への参加 ・他LOMの運動、各大会の内容を共有する。 ・積極的に参加を促す。</p>				
その他の説明					

2026年度 年間事業計画					
一般社団法人 川口青年会議所					
担当委員会	専務室				
事業概要	1)対外団体との連絡・調整・管理 2)諸会議の設営 3)様々な情報の精査発信 4)スタートアップセレモニー例会の実施 5)家族例会の実施 6)遺言例会の実施 7)会員拡大の実施 8)各種大会への参加				
事業予算	¥ 150, 000-	作成者	廣瀬 秋馬	役職	委員長
		確認者	細野 信隆	役職	専務理事
事業の目的	対外団体との連絡・調整・管理 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・外部との関係を円滑に保ち、協働を進めるために、組織の意向を正確に伝え調整を行うことを目的とする。				
	諸会議の設営 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・会議を円滑かつ効果的に進め、組織の意思決定や情報共有を確実に行える体制を整えることを目的とする。				
	様々な情報の精査発信 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・組織に必要な情報を正確に把握し、誤解のない形で関係者へ届けることで、適切な判断や活動につなげることを目的とする。				
	スタートアップセレモニー例会の実施 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・出向先の選定する情報を取得するとともに埼玉ブロック協議会のスケールメリットを体感することを目的とする。 ・2027年度ブロック大会主幹LOMとしての心構えを持つことを目的とする。				
	家族例会 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・メンバーを日頃支えている家族への感謝を伝えるとともに、青年会議所活動への理解を深めてもらい、家庭とJC活動のより良い関係性を築くことを目的とする。				
	遺言例会 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・ご卒業生のスピーチを聞き、メンバーが自身の人生観や志を見つめ直し、JC活動や地域貢献に対する想いを再確認するとともに、組織としての結束や使命感を高めることを目的とする。				
	会員拡大の実施 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・会員を拡大することを目的とする。				
	各種大会への参加 事業対象者:川口青年会議所メンバー ・メンバーへの学びの場を提供することを目的とする。				

事業の内容	<p>対外団体との連絡・調整・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対外団体との連絡・調整を一元的に担い、組織の意向を正確に伝えながら、協働事業や調整事項を円滑に進める役割です。外部との関係を整理し、連携をスムーズに行うことで、団体運営を支える重要な窓口となる。
	<p>諸会議の設営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題整理、資料準備、関係者への連絡、会場設営、当日の進行サポートなど、会議運営に必要な環境と段取りを整え、スムーズな会議開催を行う。
	<p>様々な情報の精査発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政・関係団体・内部各部門などから得た多様な情報を収集し、内容を精査した上で整理・要約。必要なタイミングでメンバーへ共有し、組織として一貫した情報発信が行えるよう管理する。
	<p>スタートアップセレモニー例会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉ブロック協議会の出向先の情報収集と活動を体感できる場を設けるとともに、2027年度ブロック大会主幹LOMとしての心構えを育む内容とし、メンバーが広い視野で活動を開始できる機会を創出する。
	<p>家族例会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族が安心して参加できる企画づくり、会場手配、案内、当日の運営を担い、メンバーと家族が交流を深められる温かな場を設営するとともに、家族の支えを実感し、活動への意欲向上につながる機会を創出する。
	<p>遺言例会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の言葉を聞いて、メンバー一人ひとりが、自身の人生観や価値観、そしてこれまで歩んできた軌跡を改めて振り返り、何のためにJC活動に取り組むのか、地域にどう向き合っていきたいのかといった“原点”を見つめ直し、自らの志を再確認することで、活動への主体性や覚悟が深まり、仲間同士が互いの想いを理解し合う機会を創出する。
	<p>会員拡大の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡大対象者の情報を常に共有する。
	<p>各種大会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他LOMの運動、各大会の内容を共有する。 ・積極的に参加を促す。
その他の説明	

審議－4 公益社団法人川口青年会議所

2026年度収支予算書（案）承認に関する件

1. 収益の部							
受取入会金	約33%拡大	30,000	×	20名(正会員承認見込数)		600,000	600,000
受取会費						600,000	
正会員会費		144,000	×	53名	7,632,000		
	144,000	×	0名(休会者、育児休暇)	差引 0	0	7,632,000	
	72,000	×	0名(前期退会者)		0		
新入会員会費 12,000/月		144,000	×	0名(後期退会者)	0		
	144,000	×	2名(1月入会)		288,000		
	120,000	×	2名(2月入会)		240,000		
	108,000	×	2名(3月入会)		216,000		
	96,000	×	2名(4月入会)		192,000		
	84,000	×	2名(5月入会)		168,000		
	72,000	×	2名(6月入会)		144,000	1,572,000	
	60,000	×	2名(7月入会)		120,000		
	48,000	×	2名(8月入会)		96,000		
	36,000	×	2名(9月入会)		72,000		
	24,000	×	1名(10月入会)		24,000		
	12,000	×	1名(11月入会)		12,000		
特別会員会費収入		30,000	×	3名(2025年度ご卒業生)	90,000	90,000	
賛助会員会費収入					0	0	
シニアクラブ					1,500,000	1,500,000	
賛助会員					0	0	
その他					0	0	
事業収入						10,794,000	
登録料収入							
青少年育成委員会 5月例会		2,000	×	30名(おとな)	60,000		
		1,000	×	30名(こども)	30,000		
広告料収入	HPバナー広告	20,000	×	20社	400,000	400,000	490,000
受取寄付金					0	0	
寄付金収入					0	0	
協賛金収入					0	0	
雑収入					0		
受取利息収入		14	×	1	14	14	
その他雑収入 川口青年経済人連絡協議会事務局委託費		10,800	×	12ヶ月	129,600	129,600	
自動販売機設置料		8,470	×	1	8,470	8,470	
(小計)収益合計					138,084		12,022,084
2. 費用の部							
事業費						3,420,000	
1. 会員拡大特別会議					500,000		
2. 青少年育成委員会					1,410,000		
3. 総務広報委員会					10,000		
4. 会員研修委員会					1,200,000	3,420,000	
5. 副理事長					150,000		
6. 専務室					150,000		
管理費							
通信・発送費 例会及び理事会通知等					120,000	120,000	
消耗品費 事務局内消耗品、印刷費					370,000	370,000	
貢借料 事務局内賃料支出(4月以外)		138,529	×	11	1,523,819	1,662,350	
事務局内賃料支出(4月のみ)		138,531	×	1	138,531		
ホームページ管理・制作 サーバー管理費		1,100	×	12	13,200	13,200	
1. 会員拡大特別会議					40,000		
2. 青少年育成委員会					20,000		
3. 会員研修委員会					20,000	175,000	
4. 総務広報委員会					12,300		
5. 総会費 支出		25,000	×	3	82,700		
次年度当選証書		7,700	×	1	96,000		
水道光熱費		200,000	×	1	200,000	200,000	
1月～12月 985,824円		82,152	×	12	985,824		
給与手当 ①基本計算1,141円×4.5h×16日×12ヶ月		41,076	×	1	41,076	1,122,900	
②残業代 1,141円×3h×12ヶ月		8,000	×	12	8,000		
③駐車場代 500円×16日×12ヶ月					200,000	200,000	
雑費					415,000	415,000	
広報費 SNS広報費					8,000	8,000	
涉外費 京都会議					30,000	30,000	
慶弔費 結婚・出産お祝い、香典等					120,000		
税理士10,000×12ヶ月					6,600	146,600	
事務委託費 社労士6,600					20,000		
司法書士20,000					1,700	90,100	
諸会費 川口青年経済人連絡協議会					145,000	235,100	
諸団体事業協賛金					748	291,720	
手帳作成費 現役53+新入20+シニア280+予備37					2,145	291,720	
JCI負担金					2,145	113,685	
①基本額					30,000	156,585	
②付加金					5,000	265,000	
日本JC負担金					5,000	60,000	
①基本額					2,500	454,500	
②付加金					1,500	20,000	
未来の青年会議所を創る協力金					1,500	79,500	
①基本額					10,000		
②付加金					1,000	53,000	
関東地区負担金					1,000	75,000	
①基本額					20,000	12,000	
②付加金					6,000	20,000	
埼玉ブロック負担金					6,000	318,000	
国際協力基金					1,825	72,000	
日本JC出向者負担金					1,825	96,725	
雑誌購読料 250円/2ヶ月(隔月発行)					20,000	133,225	
1,500	×	53名(継続会員)			750	36,500	
1,500	×	2名(1月入会)			750	20,000	
1,250	×	2名(2月入会)			750	9,700	
1,250	×	2名(3月入会)			500	1,500	
1,000	×	2名(4月入会)			500	1,000	
1,000	×	2名(5月入会)			250	250	
750	×	2名(6月入会)			250		
750	×	2名(7月入会)			250		
500	×	2名(8月入会)			250		
500	×	2名(9月入会)			250		
250	×	1名(10月入会)			250		
250	×	1名(11月入会)			250		
(小計)費用合計					6,516,180		
3. 当期純資産増減額	収益合計-費用合計				9,936,180		2,085,904
以下付属資料 一般社団法人では以下の項目は年度に貸借対照表として作成するため、添付資料とする。							
4. 純資産の部							
期首純資産					3,173,015		
当期純資産増減額(3. 当期純資産増減額と同額)					2,085,904		
期末純資産					5,258,919		
任意積立金						300,000	
65周年積立金		150,000	×	1 2025年分	150,000		
	150,000	×	1 2026年分		150,000		
	0	×	1 2027年分		0	300,000	
	0	×	1 2028年分		0		
任意積立金差引 本会計					4,958,919		

科目	2026年予算	2025年9月補正予算	比較増減	小計に占める割合
1. 収益の部				
I. 受取入会金	600,000	780,000	△ 180,000	4.99%
受取入会金	600,000	780,000	△ 180,000	
II. 受取会費	10,794,000	7,920,000	2,874,000	89.78%
正会員受取会費	7,632,000	4,404,000	3,228,000	
新入会員受取会費	1,572,000	1,896,000	△ 324,000	
特別会員受取会費	90,000	120,000	△ 30,000	
賛助会員受取会費	1,500,000	1,500,000	0	0
III. 事業収入	490,000	782,500	△ 292,500	4.08%
登録料収入	90,000	482,500	△ 392,500	
広告料収入	400,000	300,000	100,000	0
IV. 受取寄付金	0	982,100	△ 982,100	0.00%
寄付金収入	0	202,100	△ 202,100	
協賛金収入	0	580,000	△ 580,000	
補助金収入	0	200,000	△ 200,000	0
V. 雑収益	138,084	138,084	0	1.15%
受取利息	14	14	0	
その他雑収益	138,070	138,070	0	0
(小計) 収益合計		12,022,084	10,602,684	1,419,400 100.00%
2. 費用の部				
I. 事業費			0	
	3,420,000	3,665,000	△ 245,000	34.42%
			0	
II. 管理費	6,516,180	5,453,826	1,062,354	65.58%
通信・発送費	120,000	120,000	0	
什器備品費	0	0	0	
消耗品費	370,000	366,000	4,000	
事務局賃借料	1,662,350	1,562,376	99,974	
ホームページ管理費	13,200	13,200	0	
会議費	175,000	132,700	42,300	
水道光熱費	200,000	200,000	0	
給与手当	1,122,900	970,200	152,700	
雑費	200,000	100,000	100,000	
広報費	415,000	314,850	100,150	
涉外費	8,000	8,000	0	
慶弔費	30,000	30,000	0	
事務委託費	146,600	136,600	10,000	
諸会費	235,100	199,400	35,700	
手帳作成費	291,720	269,280	22,440	
J C I 負担金	156,585	109,395	47,190	
日本 J C 負担金	454,500	321,500	133,000	
関東地区負担金	75,000	51,000	24,000	
埼玉ブロック負担金	410,000	266,000	144,000	
国際協力基金	133,225	74,825	58,400	
日本 J C 出向者負担金	200,000	140,000	60,000	
雑誌購読料	97,000	68,500	28,500	
減価償却費	0	0	0	
(小計) 費用合計		9,936,180	9,118,826	817,354 100.00%
3. 当期純資産増減額				
	2,085,904	1,483,858	707,320	
以下付属資料 一般社団法人では以下の項目は年度に貸借対照表として作成するため、添付資料とする。				
4. 純資産の部				
期首純資産	3,173,015	3,173,015	0	
当期純資産増減額	2,085,904			
期末純資産	5,258,919	4,656,873	707,320	
任意積立金				
65周年積立金 2025年度分	150,000	150,000		
65周年積立金 2026年度分	150,000			
合計	300,000			

2025年度 出向者報告

健幸と幸福で大冒険！！空飛ぶ健幸生活

【埼玉】ブロック大会運営委員会
委員長

福田 隆広

本年、埼玉ブロック協議会ブロック大会運営委員会に委員長として出向させていただきました。出向は昨年のアカデミー委員会副委員長に続き2度目であり、卒業年度であっても挑戦できるJCの醍醐味を存分に味わう一年となりました。

第55回埼玉ブロック大会では「健幸」と「かつてないスケール」の2つをテーマに掲げました。筑波大学・久野教授や武蔵野銀行、ゲストの鈴木えみ様をお迎えしたメインフォーラム、健幸をテーマとした多数企業の出展、県内各地から集まったキッチンカー・企業との協働により、テーマを形にすすることができました。これは川口からの多くの出向者と、県内LOMから出向いただいた仲間に支えていただいた賜物であり、出向によるスケールメリットを強く実感しました。同時に、自身の視野も県内全域へと大きく広がり、LOMの



枠を越えた仲間との絆を深めることができました。

また、川口JCとしても1991年以来36年ぶり3回目となるブロック大会主管を川口が勝ち取りたいとの想いもありました。そのために12年にわたり続けてきた役員輩出の流れを途切れさせないのことでした。結果として、2027年度主管LOMには近年まれにみる複数LOMが名乗りを上げ、現在、川口JCが有力候補として挙がっていることは、委員長として一定の結果を残せた証と自負しております。5年間という決して長くないJC歴の中で、埼玉ブロック協議会委員長への出向は最大の挑戦でした。この挑戦を通じて、JC運動の意義と責任を改めて胸に刻む一年ともなりました。

連日のように試練が降りかかる中、1年間共に走り支えてくれた仲間、外部協力者の皆様、そして出向の機会を与えてくださった川口JCの皆様に心より感謝申し上げ、私の出向者報告とさせていただきます。誠にありがとうございました。

出向について

【埼玉】ブロック大会運営委員会
総括幹事

伊藤 孝弘

この度、埼玉ブロック協議会 2026年度 ブロック大会運営委員会に総括幹事として出向させて頂きました。昨年のアカデミー委員会に続いての役有りでの出向となりましたが、昨年に引き続きブロックの全体像が見え、学び多き一年となりました。



再来年川口でブロック大会を行う上で、準備段階から実際の構築までLOMに残る身としては、その学びを落とし込んでいく想いを請け負っていると考えております。特にブロック大会は見るべき事や、やるべき事が多いため、ブロック大会委員会に限らず、組織全体で動いていく事が最重要であると思いました。その上で前倒しで動いていく事により、大きな事業も滞りなく成し遂げることが出来るのだと思います。

来年はブロック大会運営委員会のVCとして、今年の経験を活かし再来年に向けて邁進したいと思います。

1年間ありがとうございました。



出向者報告

【埼玉】ブロック大会運営委員会
委員

土井 彩加

本年度埼玉ブロック大会メインフォーラムのファシリテーターを務めさせていただきました。

同年4月に入会したばかりで、出向とは何か、ファシリテーターとは何かもよく分からぬまま、JAYCEEの返事は“はいかYESか喜んで”だと教わっていたので、不安を抱えながらも承諾いたしました。

人見知りで、人前で話すことが大の苦手。そんな自分を変えたい、自信を付けたいという思いからJCに入会した私にとって、初めての挑戦がブロック大会のファシリテーターというのは、正直荷が重かったです。



しかし大きなチャンスだとも思いました。まさに自分がJCに入って身につけたいものが手に入る大きな一歩になると感じたのです。

リハーサルや打ち合わせでは、委員長をはじめ他メンバーの方々にもたいへん気にかけていただき、自分も大会の一員として力になりたいという気持ちが芽生え、仲間と共に頑張る喜びを感じることができました。

大会当日はLOMメンバーがフォーラムを見に来てくださいり、私の名前を呼んでくださったことが本当に嬉しく、心強かったです。(続く↓)

出向はレベルアップの近道。

【埼玉】ブロック大会運営委員会
【日本】国際グループ JCI アカデミー委員会
【日本】地域グループ スポーツの力委員会
【日本】総務グループ 渉外委員会
委員

境 友梨

総務グループ渉外委員会へ出向させていただきました。



渉外委員会は日本の役員の補佐作業がメインです。会頭補佐から始まり、副会頭、専務、顧問、監事、とそれぞれの役員に対して数人の補佐が付きます。どんな委員会かというと、役員がスムーズに会議ができるようサポートする委員会です。スムーズとは?それはLOMでは考えられないほどの配慮がたくさんあります。笑

まずは各会議会場へ向かう車の手配。会場の入り口からの動線案内、帯同、これは各補佐へ案内が流れるので補佐は役員が迷わないよう案内します。昼食手配。役員は行動時間が決まっていて、買いに行く時間、食べに行く時間はないのでそこは補佐があらかじめ把握して昼食時間もスムーズに済むように手配。休憩時間も同様。会場から会場への移動手配。懇親会会場先回り設営。会場へ向かう帯同。お出迎え。役員懇親会中は私たちも食事待機。(役員達の半分の時間)会計もスムーズに終わるように立て替え。お見送り。解散。通常の流れだとこんな感じになります。(続く↓)



出向を通じ、良き仲間や経験を得ることができたのと同時に、自 LOM の有り難みや安心感も実感しました。

出向先でも LOM でもたくさんの人の温かさや情熱に触れたことで、私も心に静かな熱を持ち、その熱を人に分けられるような人間になりたいと強く感じました。そして、そんな人間になれた時には、きっと自然と自信もついているのだと思います。

この経験は今後の J C 活動を前向きに取り組もうと決意する大きな原動力となりました。

入会 2 ヶ月で経験することができ、私はとても幸運だったと思います。

卒業まであと 9 年ありますが、2025 年埼玉ブロック大会で感じた気持ちや学んだものは私の心に長く残り続け、これから J C 人生にも大きく影響を与えてくれると感じています。

貴重な機会をご提供いただきありがとうございました。

これが諸大会だともっと大変なイメージです。毎月の定まった場所ではない会議の席同。全国会頭訪問席同。こんなに忙しい委員会はきっと渉外委員会しかないのかなと思います。ですが、役員の大変さ、日本中の J C との関わり、各大会が出来上がるすがた。こんなに間近で感じることはできないと思います。そんなもの感じなくてもいいと思うと人もいると思いますが、ここに立つとまた色々な考えが変わります。LOM でもそうですが経験が全ての景色を変えると思います。大変でも挑戦してみることの良さはこの一年でかなり学ばさせてもらいました。

また、川口青年会議所にも渉外委員会があつてもいいと思いました。1 人 2 人で理事長を支えるよりも委員会で役員を支える、そんなチームワークも素敵だと経験してから思いました。

川口に新しい気持ちを持ち帰るという気持ちで出向はすごくおすすめです。

素敵な出会いがある出向の機会をいただき、本当にありがとうございました。



←2025 スタートアップセレモニー
(越谷・2/20)



2025 全国大会→
(佐賀・10/10~12)



←2025 ブロック大会
(所沢・6/29)



【日本】スポーツの力委員会



サッカーを通じて

【日本】地域グループ スポーツの力委員会
委員

廣瀬 大志

本年度、公益社団法人日本青年会議所地域グループスポーツの力委員会に出向させていただきました。

J C カップの全国大会と国際大会の開催に向け、活動をしてきました。子ども達にデフ（耳栓をし声を出さない）サッカ一体験してもらうため地区大会にも参加しました。その中で、デフリンピックという国際大会があり2025年は東京で開催されることを初めて知りました。サッカーでは無いが、24時間テレビの視聴覚障害を持っている子たちの花火大会も携わりました。この日の最後の担いは、現地に見に来ていたジャニオタから永瀬廉を守るために、二重に囲い会場から車に乗るまで誘導をしましたが、ファンの圧が凄く怖かったです(笑)。

全国大会は優勝へ向け全力で試合をする子ども達は輝いており、退屈な展開のJリーグよりサッカー良いなと思いながら見ていました。

国際大会はパリやラージョのユースも参加をし、自然と計4日間アテンドをしていたラージョのサポーターでした。勝った時は共に喜び、負けた時は共に悲しみ、気がつけば仲間のようでした。通訳がいますが、その中でもジェスチャー等で通訳がいなくても通じるものもあり、ラージョの一員になれた様に感じました。

設営や運営といった担いはありますが、出向したからこそ多くの経験ができた1年でした。

サッカーが好きだから出向をしましたが、終わってみれば沢山酒を飲み全国に新しい仲間ができました。その中にはプライベートで会う仲になった人もいます！

出向をする理由は、興味があるから、誘われたからと人それだと思いますが、興味があるなら一歩踏み出し出向をしてみてください！多くの経験（成長）と仲間という財産が得ることができます！

以上で出向者報告とさせていただきます。
1年間ありがとうございました。

自身の学びと経験

【日本】国家グループ 全国大会運営会議
委員

永井 光義

本年度は、公益社団法人日本青年会議所国家グループ全国大会運営委員会第5小会議に出向させていただきました。

大きな担いとしては、対話集会の設営、全国大会当日の開会式、閉会式です。対話集会は一度しか参加できませんでしたが、2026年は神戸青年会議所、2027年は諏訪圏青年会議所、2028年は徳島青年会議所と、3年後の全国大会主幹LOMの一体感やメンバーのモチベーションの高さを感じることができました。また、開会式、閉会式の設営側として参加することで、今までの苦労や委員会メンバーとの思い出が溢れる場面が多くありました。正直、開会式、閉会式にあまり参加をしてきませんでしたが、今回の出向を機に、今後は多くのメンバーで参加したいと感じ

ことができました。

今回の出向で学んだことが2つあります。

まず、情報の早さです。全国大会佐賀大会は、飛行機のフライト数やホテルなどの宿泊先が少なく福岡に行くメンバーも多かったと感じています。出向していたからこそ情報を早くLOMに展開することができました。

次に、出向メンバーの絆が深いと感じました。活動エリアや各地域の問題点は違いますが同じ目的を持つメンバーが出向という1つのツールを使うことで仲間として打ち解ける速さが段違いでした。半分ぐらい共に出向した中村君のおかげですが、...

自分が得た学びを今後もメンバーにも伝えることが重要です。残りの青年会議所活動でどれくらい伝えることができるか分かりませんが、今後も邁進していきます。

最後に、このような機会をいただけた瀬川理事長ありがとうございました。

出向者報告

【日本】国家グループ 全国大会運営会議
委員

中村 光彦

2025年度は自ら志願して日本青年会議所・全国大会運営会議へ出向させていただきました。志願した理由は県内屈指のパワー担当として、私は一体どこまで通用するのか、自分を超える「人を巻き込むパワー」があるメンバーを見てみたいと思ったからです。結果私のパワーは日本でも通用するという事実が判明しました。全国から元気のあるパワー担当が集まる会議体においても川口青年会議所の名前を大きく広めることができました。

日本出向は全国各地より集まる仲間との一期一会の最高の出会いが待っています。これこそが青年会議所活動における一番の醍醐味であると私はおもいます。また、全国大会運営会議として毎年行われる全国大会の構築に大きく関わり、寝る間を惜しんだ徹底的なりハーサルや、ぎりぎりまで変更を重ねる様々な担いを経験して日本青年会議所の設営のレベルの高さを痛感しました。私の担いはまずは開会式・閉会式でした。私が設営していることにより閉会式に初めて参加した川口メンバーも素晴らしい経験が出来たと思います。

さらにもう一つの大きな担いとして、2026～2028年度までの全国大会主管青年会議所と対話集会といって現地調査、研究、対話をを行う事でした。その地域の理事長、ブロック会長、知事、市長まで集まり全国大会に向けて、様々な課題などを話し合い開催に向けて準備を進めていく、つまり全国大会レベルのカンファレンスは3年前から会場、宿泊、運輸といったことに対して動いているわけです。

私たちは本番が始まれば大会を成功させるために主管する青年会議所と協力し3日間ろくに寝ることなく行動しますので自然と強い仲間意識が芽生え、終わった後のやりきった達成感は私の青年会議所活動の中で一番の経験となりました。改めて出向させていただきましてありがとうございました。

学び

【日本】国家グループ 全国大会運営会議
委員

大山 涼太

川口青年会議所の一員として全国大会運営会議に出向してきました。普段の例会運営とはまったくスケールが違って、正直最初は圧倒されました。でも、その分学ぶことも多くて、とても充実した時間でした。全国大会って、参加者数も多いし、やることがめちゃくちゃたくさんあって、会議では他LOMのメンバーとも意見交換する機会があって、自分の当たり前が全国基準ではないことに気づかされ、視野がぐっと広がったのも大きな収穫でした。

会議の進め方も印象的で、一回も参加しないメンバーがいる中で、誰が何をやるかを決めて、やっていくところも印象的でした。このスピード感や決断力は、普段の生活や仕事でも見習いたいと思えるものでした。自分も全国大会運営会議に参加して、自然とコミュニケーション力や行動力が身についた気がします。

そして何より楽しかったのは、全国の仲間たちと一緒に大会を作り上げる過程です。会議の合間や懇親会で話すだけでも、それぞれの地域の取り組みや考え方方に触れられて、新鮮で刺激的でした。同じ志を持った仲間と議論して、一つの目標に向かって動くのは単純に楽しくて、モチベーションもすごく上がります。

今回の出向で得た学びやつながりは、JC活動だけでなく、自分の仕事や日常生活にもきっと活かせると思います。正直、最初は緊張していたけど、終わってみれば「来てよかったです！」と思える経験になりました。

1年間ありがとうございました。

